

結女だより



No299 2022年2月1日発行

©企業組合ワークス・コレクティブ結女

西東京市泉町3-15-28

電話042-425-3800

最も寒さが厳しい月です。

しかし、春を予感させる行事（節分 立春）があり、凝縮された寒さも芽吹きに向けてもう一歩です。

コロナはもちろん、インフルエンザやノロウイルス、体力を消耗する風邪に向けて予防に努めましょう。冷えとは体感だけではなく内臓すべてが冷たくなり、心臓他五臓六腑の機能が低下してしまう症状です。腸や胃の動きに注意しましょう。とにかく、からだを温めるいろいろな対処を心がけましょう。

- ① **体を暖める食事をとる。根菜類は体を暖めます。生の野菜は冷やすので少なめに。**
- ② **ゆっくり風呂に入る。骨の髄まで暖めるつもりで。**
- ③ **散歩などで 体温を上げる**
- ④ **首から上の保温に注意 マフラー・マスクなど着用**
- ⑤ **寒暖の差に敏感に。**

などで寒さを乗り切りましょう

《二月》

2月の4日は二十四節気では、立春にあたります。

立春大吉、暦では春の始まりです。二十四節気の第一節、暦の一年もここから始まります。今年はいきなり寒くなったためか、特別厳しさを感じ、暦の上では春とはいえ、実際には、まだまだ春は遠い感じ です。

また、コロナは先が見えません。日々の注意も、できる限りの対策も変わりなく続けることが大事に思えます。

結女でも変わりなく粛々と対策を行いつつ、安全にお食事をお届けしたいと思 います。

〔ひとことコラム〕

お昼ご飯を食べながら出てきた話を 少しご紹介します

2月23日は天皇誕生日です。天皇誕生日は、平成の時代へ12月23日でした。クリスマスが近かったこともあり、覚えている人も多かったことでしょう。しかし、令和に移り変わったことで日付が移動して、2月23日が令和の天皇誕生日になりました。

なお、2月23日に行われるはずだった令和4年の「天皇誕生日一般参賀」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から取りやめることになっています。



2月のイベントの中でも最大級のイベントが札幌で行われる「さっぽろ雪まつり」で、毎年2月上旬に開催される、雪と氷の祭典です。

この雪まつりは1950年に行われたのが始まりですが、第二次世界大戦で途絶えてしまった北海道の雪の祭りをなんとか開きたいという思いがこもった祭りでもあります。

札幌オリンピックがあった1972年、このとき札幌にある大きなお祭りとして札幌雪まつりがフィーチャーされたので、一気に有名になりました。

旧暦では、2月4日前後の「立春」が1年の始まりです。そのため、立春の前日を「季節を分ける日」という意味の「節分」と称し、豆まきをして一年の穢れ（けがれ）をはらい清める風習が生まれました。

豆は「魔を滅する（まめ）」に通じ、無病息災を祈る意味があります。また、まいた豆から芽が出ると縁起が悪いと考えられていたため、炒った大豆を枡へ入れ神棚にお供えしてから使います。

鬼は鰯のにおいと、柗のとげが大の苦手。

節分には、柗に焼いた鰯の頭を刺した「柗鰯」を玄関先につけておきます。木へんに冬と書く柗には、冬の寒気をはらうという意味もあります。

4年に1回だけある『うるう年』は、2月に割り当てられています。

4年に1回だけ2月29日が誕生する理由としては、1年が365日ではなく365日と6時間だからです。

そのためこのずれた時間を調整するために4年に1回2月29日が現れます。

ちなみに、うるう年の2月29日に生まれた人は「年齢計算ニ関スル法律」によって2月28日の24時に1歳年をとるようになっているので、4年に1回しか年をとらないなんてことはないのです。